

第2回 徳島市教育振興計画（第2期）策定委員会 議事録（要約）

日 時 平成26年7月14日 13:00～15:30

出席者 26名（委員11名、教育委員会各課長等12名、事務局3名）

1 開 会

事務局： 第2回徳島市教育振興計画（第2期）策定委員会を開会いたします。

2 審 議

副会長： 当計画素案について前回資料との修正箇所を事務局より説明してください。

事務局： 説明

副会長： 第1回徳島市教育振興計画策定委員会で、各委員からの意見を受けて当計画素案を修正した部分について説明をしました。前回説明したように、今回と次回で分割審議とします。内容については担当課から説明し、各委員から質問をいただきながら検討を重ねていくという進め方とします。

担当課： 「創造する喜びを拡げる生涯学習の推進」の部分を説明

A 委員： 進行方法に提案があります。各委員は、事前に当計画案を読んでおり、内容は把握しているので説明は省き、意見・質問がある部分だけ検討する進め方ではどうか。

副会長： ただいま提案のあった進め方でよろしいでしょうか。

各委員： （異議なし）

B 委員： 生涯学習の推進については、「いつでも、だれでも、どこでも、ニーズに応じたもの」というのが、これまでのスタンスであったと思う。タイトルの「創造する喜びを拡げる生涯学習の推進」という文言は素晴らしいと思うが、これが本文中に入っていない。素晴らしい理念が反映されていないように思う。タイトルの文言をもっと、本文中に入れ加筆すれば、もっと方向性が具現化されるのではないか。

C 委員： 市立図書館は、徒歩・自転車圏内の人にとってはよいのだが、自家用車を使う者にとっては不便な面がある。子どもの生活圏内で本が借りられるよう、公民館などを利用して、配本できないか。

担当課： 貴重な意見として承ります。

D 委員： 商業施設で買い物をしたら、駐車料金が無料になったりするイメージだが、商業施設の駐車場料金を減額して、使用できるようなくみを作れないか。

- 担当課： 駐車場に関しては、過去から検討しているが、公立図書館という制約の中では難しい状況です。
- B 委員： 評価には厳しいものもあるが、プランはポジティブな夢を持てるような物にしたい。
- E 委員： 現状・課題・今後の取り組みが、きちんと区別できていないように思う。早い時点で、もう一度すりあわせた上で、修正を加えてはどうか。
例えば、10を目指していたけど、2しかできなかったというのが「現状」、2しかできなかったのは、こういう理由です、というのが「課題」、そして今度は5とか10とかを達成したいというのが取り組みではないか。
時系列で見れば、現状や課題は現在のこと、今後の取り組みは未来のこと。
- A 委員： 余力があれば、国の教育基本法の解説や関係性・成り立ちなどを記載できないか。もっとわかりやすくなると思うが。
- F 委員： 19ページの「徳島市立高校の過去3カ年の進路状況」の表だが、国公立大学のうち難関大・医学部という表記があるがこれは削除してはどうか。大学の序列を出すのは違和感があり、不適切と思う。
- 副会長： 削除する方向で進めます。
- A 委員： 「サギノー市への派遣」とか「サギノー州立大学」とか「アメリカ合衆国サギノー市」など、言葉を一つに整理した方がよいのではないか。
- 事務局： 統一します。
- B 委員： 20ページに、「市校の高等学校であるという独自性を生かし、県立の高校にはない・・・」と言う表記があるが、これでよいのだろうか。
- G 委員： よい表現ではないかもしれない。
- A 委員： 県下、唯一の市立高校と記載してはどうか。
- 副会長： 市立高校の「レインボウプラン」の説明を入れてはどうか。
- H 委員： 市立高校に関する部分に、地域住民にとって市立高校が防災の拠点として役立っているということを記載してもよいのではないか。
- C 委員： 28ページの表（肥満度傾向の割合）ですが、の徳島市は割と優秀であり、マイナス面ばかりでなく、全国を上回っている部分などプラス面も取り上げてはどうか。
- F 委員： 26ページなどの、「全国の体力・運動能力・運動習慣等調査結果」の表だが、調査実施年度や出典はどこか。はっきり書いた方がよいのではないか。
- 事務局： 出典は記載します。

- A 委員： 26ページの「体力づくり」の文字を統一するように。
27ページの「西日本で唯一高い状況」という表現は適切か。「意志決定」は「意思決定」に直してはどうか。
- 事務局： 訂正します。
- A 委員： 27ページに、児童・生徒の肥満傾向の記載があるが、この問題は「食育」との関連が深い。ここにも、食育関連の記載があってもよいのではないか。
- F 委員： 29ページの「長時間労働者」というのは分かりにくい。
- 副会長： 「長時間労働者」の定義を記載してはどうか。
- 事務局： 説明を記載します。
- I 委員： 22ページの「学習意欲の向上や学習習慣の確立」の現状・課題・今後の取り組みでは、文中で「改善」という言葉が目立つが、取り組みのところでは、「確立」と言う言葉を使ったらどうか。
- I 委員： 23ページの道徳教育に関する部分では、大事なのは行動する力の育成が求められていると思うので、行動力という文言を使ってはどうか。
- F 委員： 障害の「害」が徳島県などでは、ひらがな表記の「がい」が使われている。徳島市では漢字のままだが、どうするのか。
また、31ページに通級指導教室のところ「障害種」という文言が使われているが、「種」という字は削除してもよいのではないか。
- 担当課： 徳島市では、漢字表記ですが、徳島市の他の部門と相談して検討します。
- A 委員： 31ページの真ん中あたりで、インクルーシブ教育に係るところだが、「特別支援教育を推進することは、インクルーシブ教育構築に不可欠」という記載があるが、特別支援教育は分離別学の考え方で、インクルーシブ教育と相反するもので、矛盾していないか。
- E 委員： 少し、文章がおかしいだけなのではないかと思う。特別支援育というのは、障害者により好意的な教育ということではないか。言葉の繋ぎ方を直せばよいのではないか。
- 副会長： 特別支援教育は、分離ではなく、必要に応じて合理的配慮を行うことだと思います。
- A 委員： この部分の「特別支援教育」の文言を削除してはどうか。その方が文章として無理がないと思うが。
- 副会長： これについては、事務局と相談して判断します。
- I 委員： 17ページの義務教育の充実のところ「国際社会化」という新しい文言が入っている。新しい言葉が入っているということは4ペ

ージに影響するのではないか。後の段階で、4ページの「高度情報化とグローバル化の進展」の部分も検討を加えてはどうか。

A 委員： 32ページの表中のパーセントを示す数値は、コンマでなくピリオドではないか。

A 委員： 県の教育委員会などでは、園・学校としているが、徳島市は学校（園）である。幼児・児童・生徒のように、並列的に並べるときは、幼稚園関連を前に出すと統一してはどうか。

事務局： 作業部会で検討します。

A 委員： スポーツなどは、大いに世界がもりあがるので、そういうオリンピックとかポジティブな言葉を盛り込めないか。

A 委員： 39ページの上のグラフと、下の表では項目の記載順序が逆になっているが、同じにした方がよいのではないか。

事務局： 修正します。

B 委員： 41ページの少子化に関係する部分だが、ある学校では増え、ある学校では減っており、この書き方だとよく分からない。どこまでのスパンでかいているのか。市教委は少子化に取り組むのか。

副会長： 事務局と相談して考えたいが、当委員も具体的な意見が出たら伝えてください。

A 委員： 徳島市教育委員会の基本理念は（「人間力」の基礎となる確かな学力・豊かな心・健やかな体を育み、「教育文化都市徳島」の実現を目指します。）であるが「徳島を実現する」というのが理念とは違和感があるが。

事務局： 検討させてください。

F 委員： 54ページの現状で、「交通安全教室」と「誘拐防止教室」を実施していることを記載してもらいたい。

事務局： 記載します。

C 委員： キャリア教育という言葉が、子どもに理解されていないこともあったので、「人生設計という意味がある」と記載してはどうか。

事務局： 用語説明で対応します。

I 委員： 現時点では、基本構想は一期の計画と同じですが、後ほど、整合性が出るように、修正準備を進めていただきたい。

F 委員： 4ページの、「ネットワーク上の規範や無知識」とう文言の中の無知識という言葉を知識不足に変えてはどうか。

副会長： 意見のあった点は、作業部会で検討・対応します。

3 今後のスケジュール確認

事務局： 第3回は、平成26年9月30日午後1時に予定しております。

会長： 以上で会議を終了します。